

ちゃんと かわら版

全国地域安全運動期間(10月11日～20日)に合わせて、恵庭市防犯協会連合会(谷川徳雄会長)主催の「青色回転灯車による防犯パレード」が10月18日、恵庭市内で行われました。当日は同連合会メンバーをはじめ千歳署や恵庭市など関係団体から約16人が参加。車両9台に乗り込み、島松公民館駐車場を発着点とする市内中心部を一巡するコースをパレードし、特殊詐欺への注意喚起など防犯意識高揚を図りました。

同公民館駐車場前で行われた出発式で、



「青色回転灯パトロール隊」出発式 学校周辺などで防犯意識高揚を図る



谷川会長が「すっかり寒くなって参りました。昨年のパレードでは一般車両が車列に割り込んでくることがあり、急ブレーキをかける場面がありました。今年もそういったケースが考えられるので、十分注意していただきたい。車列のスピードはゆっくり進みますので、安心してついてきてください」と参加者に安全走行の励行を呼びかけました。

続いて、千歳署 恵庭交番の山谷博志所長が「今年度の刑法犯認知件数は579件あり、昨年比47件増となっております。特に自転車盗が同期比77件も増えるなど、件数が増え、押し上げる要因となっております。自転車を見ていると半分ぐらいが無施錠の状態であり、ツーロックなど防犯対策の徹底を呼び掛けていますが、なかなか防犯意識が徹底されていない」など地域の防犯事情を報告しました。

続いて、参加者がそれぞれの車両に乗り込んでパレードを開始。島松から恵み野、柏陽町、柏木町、文京町、有明町、和光町、黄金南、中島町など市内中心部を一巡。小・中学校や高校、大学の周辺で犯罪被害の防止対策徹底を呼びかけました。

(編集部 伊藤)

千歳市内の小学校3・4年生を対象にした職業体験イベント「こどものマチ Jr.chitose2024」が10月26日、北ガス文化ホール4階で開催されました。当日は、事前抽選で選ばれた小学校3・4年生200人が参加。地元企業協賛による31の職業体験ブースや、職業体験を通して得られたイベント専用通貨での買い物など、未来の職業選択に向けた体験を楽しみました。

2022年6月に千歳青年会議所

こどものマチ Jr.chitose 小学生200人が仕事の面白さ学ぶ



(千歳JC)の主催で初開催したもので、昨年からは同JCメンバーを中心に構成する実行委員会(米田大樹実行委員長)が運営を継承。今年も市内の小売業やサービス業を中心に航空関係、自衛隊、市消防署など多彩な31職種の体験ブースを用意して子どもたちを迎えました。

参加者はコンビニエンスストアの店員や消防士、自衛隊員、空港スタッフなど将来就きたい仕事のブースを回り、制服を着用して接客対応やアナウンスなど業務の一端を体験。また、サケのふるさと千歳水族館のブースでは、珍しい「投網体験」なども行われ、普段目にする機会のない貴重な体験に真面目

に取り組み子どもたちの姿も見られました。また、職業体験の報酬として受け取った専用通貨でいろいろな遊びや買い物を楽しむなど、市場経済の仕組みにも理解を深めました。今年のイベントを終えて、米田委員長は「イベントでの体験を通して、将来の職業選択や生き方など子どもたちに良い影響を与えることができました。今年の子どもたちにも多くの子どもたちに体験や学びの機会を提供できるよう、実行委員会が協力して進めていきたい」と総括しました。

(編集部 伊藤)

岩塚製菓・日本航空大学校が こども食堂にお菓子を寄贈

市内泉沢に北海道工場を有する岩塚製菓(新潟県)と、同工場に隣接する日本航空大学校の学生が10月25日、空港開港100周年記念商品として共同開発したお菓子「ふわっとくもっと(わたあめ味)」60袋を、子ども食堂REST(住吉4、伏木千幸代表)に寄附しました。これで市内全7カ所の子ども食堂に計1000袋を寄贈する両社の一大プロジェクトは全て完了となりました。

両者は、2026年に空港開港100周年の節目を迎える新千歳空港をPRしようと、記念コラボ商品を共同開発。9月8日に同空港で開催された「スカイ&オータムドリームフェスタ2024」で商品発表会を開きました。席上、両者から市内の子ども食堂関係者に商品が寄贈されました。当日出席できなかったRESTなど2カ所には、この日までに直訪問して配布を終えています。

会場には、同校2年のベラスコ・カリスさん(フィリピン出身)と王賛添さん(おう・いんてん、中国出身)の2人が訪問。毎週金曜日

の16時～18時30分まで開設している同食堂では、0歳から中学生までの子どもたちを中心に最大80人ほどの市民が利用しています。伏木代表に手渡されたお菓子は早速利用者らに配られ、子どもたちが「わいわいと笑顔で頬張るほほえましい光景が広がりました。」

活動を終え、カリスさんは「子どもたちの笑顔を見て、地域にも少なからず貢献出来て良かったと感じました」と感想を一言。祖国に12歳と8歳の子供がいる王さんも「中国には子ども食堂がなく、とても貴重な体験でした。グランドスタッフを目指して、サービス精神やおもてなしの心など日本流の優しさを学んでいます」と笑顔で振り返りました。

(編集部 伊藤)

千歳市からのお知らせ

千歳市地域福祉勉強会の開催
11月28日

講演「みんなの居場所づくり～長続きの秘訣」

市民一人ひとりが「地域福祉」についての理解を深め、地域活動に積極的に関わることが自分たちのまちを造るために大切であると考え、モチベーションとなる機会を提供します。

講師 北海道医療大学非常勤講師 長谷川 聡氏
対象 居場所づくりとしてのサロンやカフェの立ち上げ方や運営方法、継続するに当たっての課題等に関心のある方
と き 11月28日(木) 18:00～20:00(講演)
と ころ 北ガス文化ホール(市民文化センター) 3階 中会議室1
参加費 無料(事前申込必要)
定員 50人(申込順)
申込期限 定員になり次第締切

千歳市保健福祉部福祉課総務係
電話 0123-24-0292 FAX 0123-27-3743
Eメール chiikifukushi@city.chitose.lg.jp

ちゃんと11月8日号 まちがい探しの答え



●猫のしっぽの長さ ●猫の目 ●カップ麺のラベル ●シニア男性の服 ●駒台上的駒の数 ●黒髪の男性の口 ●女性の手元 ●女性のスカートのシワの数